

【小項目評価基準】
 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。
 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。
 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成28年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ

大項目	小項目	病院機構による自己評価	第1回のご意見による変更内容	評価の判断理由・評価のコメントなど	
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置					
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	4	5	川崎病センター及び先天性心疾患の手術症例数は全国一位という成果をあげている。また、患者の増加等に対応した病床再編や既存のセンター並びに診療科における連携強化を図りながら、運動器センターや国際医療支援センターを新設するなど、良質な医療の提供を目指した取組みがなされ、結果、1人1日当たり入院単価、新規入院患者数、救急搬送件数の大幅な伸びを見せていることを高く評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。
		市民病院	3		脳神経血管内治療部の新設や、外科領域における難易度・専門性の高い手術の実施、循環器内科における不整脈外来の開始や新たな施設基準の取得、救急受入体制の更なる充実に向けた取組みなど、高度専門医療、救急医療を提供するための体制整備や強化が図られている。また、福岡検疫所との共催で訓練を実施するなど、新型インフルエンザ等対策特別措置法における指定医療機関として、関係機関との連携体制の確立が図られていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	4		地域医療支援病院として、地域の医療機関からの積極的な紹介患者・救急搬送の受け入れに取り組んだことによる紹介率の増加、カンファレンスなどの定期開催や病院訪問、医師会との連携強化による開放型病床への登録医数の大幅な増加、また、周産期センターにおける緊急時対応体制の整備など、病病・病診連携に積極的に取り組んでいることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	4		病院の情報発信や開放型登録医への訪問などにおいて地域の医療機関に対する効果的な手法を検討して取り組むとともに、新規医療機関を中心とした積極的な訪問の実施により、開放型病床への登録医数は大幅に増加しており、紹介率、逆紹介率などすべての指標において実績値が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(3) 災害時等の対応	こども病院	4		災害発生に備えた訓練の実施や防災マニュアルの見直し、事業継続計画の策定を行い、メディカルラリーへの継続的な出場や優勝によるスキル向上に取り組むとともに、熊本地震においては、福岡市民病院の救援物資の提供、入院患者の搬送支援、延べ100人の医療支援班の派遣、福岡市立こども病院の延べ16人の医師の派遣、ヘリコプターや救急車による救急搬送患者の受け入れ等を迅速かつ効率的に行い、また、震災支援のために熊本市市民病院から看護師9人の受け入れを行うなど、市立病院としての役割を十分に果たしていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	4		
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	4		退院時アンケートの結果等を踏まえ、西鉄バスの増便や自動販売機の設置など、さまざまな患者サービス向上の取り組みを行うとともに、療育相談窓口の設置による相談業務の強化やホームページでの24時間外来診療予約の一部試行による患者の利便性の向上を図り、また、国際医療支援センターを開設し、外国人患者の円滑な受入体制の整備を進めていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	3	4	外来の待ち時間の短縮や待合スペースの充実を図り、入院ベッドの更新などによる療養環境の整備に取り組む、入院患者満足度調査の平均点は高い点数を維持している。また、病院指標の新規作成及び公開により、患者サービスを含む医療の質の向上に向けて日々改善を行っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(2) ボランティアとの共働	こども病院	3		ボランティアの募集の充実に向けた取り組みや、新たなボランティア活動の開始など、市民・患者の視点に立ったボランティア活動が行われていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	3		地域や大学等の協力を得た定期的な院内コンサートの開催や、ボランティアによる花壇の手入れ、継続的な院内ボランティアの活動により、外来・入院患者へのきめ細やかなサービスが提供されていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	4		医療情報室の設置による研究体制の充実や、看護学生等を対象としたインターシップ及び病院説明会の開催による人材確保に努め、新人看護師職員向けの研修、職員の資格取得の奨励、認定看護師等資格取得支援制度に基づく支援の実施によりスタッフの専門性の向上を図るとともに、勤務体制の見直し及び院内保育所の時間の延長など、職員の福利厚生への充実にも取り組み、また、院内研修においては、外部講師の活用を図りながら、接遇・感染対策・防災・メンタルヘルスなど多岐に渡る研修を実施し、外国人患者の円滑な受け入れのための研修等も実施されていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	4		神経内科医(脳血管内治療専門医)1人、薬剤師2人、臨床検査技師1人の増員により高度専門医療の充実を図るとともに、7対1看護体制を確保するための看護師の増員など人材確保に努めており、また、ワーク・ライフ・バランス推進委員会の取り組みにより、年休取得率も向上し、新規採用職員を対象とした採用研修の実施や、全職員に対する複数の教育研修の実施など院内研修の充実を図っており、認定看護師等資格取得支援制度の利用促進による認定看護師の資格取得者も多く、スタッフの専門性向上に努めていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	4		感染対策における連携強化や、研修の実施による医療安全対策の徹底、クリニカルパスの電子化やその活用により患者中心の医療の実践のためのインフォームド・コンセントの徹底も図られており、患児の発達サポートの継続的な活動や治験管理室の設置など、安全・安心な医療を提供するための体制整備に取り組んでいることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	4		環境ラウンド等による院内感染防止対策の徹底を図り、インシデント報告システムの改修、RRSの基準の明確化や院内ルールの周知による件数の増加、クリニカルパスの活用や院内急変症例等の多職種でのカンファレンスの開始、ホームページを活用した治療内容の可視化に努めるとともに、薬剤管理指導・栄養食事指導件数の実績値が目標値を上回ったことなどから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
	(3) 法令遵守と情報公開	こども病院	3		監督者研修などによる職員の服務規律の指導の徹底や監事による業務監査などでの内部統制の充実を図り、福岡市の関係条例等に基づいた個人情報保護及び情報公開の対応を行うとともに、福岡市民病院において、病院指標のホームページでの公開の準備を進め、また、福岡市立こども病院においては、こども病院フェスタの開催など、市民に開かれた病院づくりに努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	3		
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置					
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	こども病院	3			市立病院機構の的確な運営のための理事会の開催及び理事会の決定方針に沿った運営が行われ、両病院ともに、病院長のリーダーシップの下、執行部会議等において情報の共有化が図られており、自律性を発揮した運営管理体制が整備されていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
	市民病院	3			
	こども病院	3			マネジメント能力向上等を目的とした全職員対象の監督者研修や主任研修を実施するとともに、事務職員を対象とした研修の実施、外部の研修へ職員を参加させるなど、事務部門等における専門性の向上を図っていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
2 事務部門等の専門性の向上	市民病院	3			
	こども病院	3			
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	こども病院	3			管理職目標管理制度の本格実施に向けた検討を進め、有期職員の無期雇用労働契約への転換等に関する制度構築に向けた検討やワーク・ライフ・バランス推進委員会における全職員を対象とした人事制度説明会を開催するなど、職員の意欲を引き出す取り組みを行っていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
	市民病院	3			
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとすべき措置					
1 経営基盤の強化	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立	こども病院	3		経営管理諸表による経営状況の検証や四半期ごとの課題の分析により改善策を講じるなどの経営管理を徹底するとともに、両病院で定期的な執行部等の会議を開催し、増収対策や費用削減等の検討による決定事項等を迅速に職員へ周知するなど、安定した経営基盤の確立に向けた取り組みが行われていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	3		
2 収支改善	(2) 投資財源の確保	こども病院	3		定期預金の利率入札による積立金運用益の確保や、価格交渉の徹底等による費用の抑制を図り、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努めていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	3		
	(1) 増収	こども病院	4		効率的な病床管理による病床利用率の向上を図り、集中治療系病床の再編などにより重症患者の円滑な受け入れに取り組むとともに、人員体制の整備などによる施設基準の取得などの増収対策により、入院収益が前年度比10億円の増となったことから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
		市民病院	3		救急医療体制の更なる充実を図り、医師の増員による手術件数の増加や、診療報酬改定への適切な対応による施設基準の維持、診療部門等の新設などによる高度専門医療体制の拡充などにより増収に努めたことから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
	(2) 費用削減	こども病院	3		ジェネリック医薬品の使用拡大に積極的に取り組み、SPDを活用した適正な在庫管理に努めるとともに、委託内容の見直し、ビルディング・エネルギー・マネジメントシステムを活用した効率的なエネルギー管理、医療機器の選定等に当たる徹底した価格交渉など費用の削減に努めており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
		市民病院	3		
(3) 収支改善	こども病院	3		福岡市立こども病院は、効率的な病床運営の取組みや難易度の高い手術の実施、費用削減対策などにより収益が大幅に増加し、医業収益比率等の全ての指標において実績値が目標値を上回っており、また、福岡市民病院は、年度当初に病床利用率が落ち込んだものの、SPDの活用や委託の見直しなどによる経費削減対策を図ることで、当期純利益を確保していることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
	市民病院	3			
第5 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとすべき措置					
1 新病院の整備及び運営に関する取組	こども病院	5		運動器センターの新設による医療機能の充実や医療従事者の確保による診療体制の構築が着実に図られており、この2年余りでフル稼働に近い状態にまで至っている。また、収支面では効率的な病床管理等により黒字化を果たすなど、短期間で経営の健全化が図られたことを高く評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。	
	市民病院	3		難易度・専門性の高い手術や検査の実施による高度専門医療・高度救急医療の更なる充実を図っている。九州で初のMERS疑似症患者の受入や熊本地震での積極的な支援対応など、実際の災害発生時に市立病院としての役割を果たしている。また、徹底した費用削減対策により経営の効率化に努め、その実績は総務省等対外的にも評価されるなど年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	

地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成28年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ

大項目	小項目	小項目評価	ウエイト	ウエイトを考慮した項目数					3~5の小項目評価数	3~5の小項目の割合	大項目評価					
				評価5	評価4	評価3	評価2	評価1								
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	5	2	2				9	24	24	100%	A (計画どおり進んでいる)		
			市民病院	3	2		2									
		(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	4	2		2									
			市民病院	4	2		2									
		(3) 災害時等の対応	こども病院	4	1		1									
			市民病院													
	2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	4	2		2		6							
			市民病院	4	2		2									
		(2) ボランティアとの共働	こども病院	3	1			1								
			市民病院	3	1			1								
	3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	4	2		2		9							
			市民病院	4	2		2									
		(2) 信頼される医療の実践	こども病院	4	2		2									
			市民病院	4	2		2									
		(3) 法令遵守と情報公開	こども病院	3	1			1								
市民病院																
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						3										
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	こども病院	3	1			1		3	3	100%	A (計画どおり進んでいる)					
	市民病院						1									
	こども病院	3	1			1						1				
2 事務部門等の専門性の向上	市民病院															
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	こども病院	3	1			1										
市民病院																
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					2	9										
1 経営基盤の強化	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立	こども病院	3	2		3		3	11	11	100%	A (計画どおり進んでいる)				
		市民病院				2										
(2) 投資財源の確保	こども病院	3	1			1	8									
	市民病院															
2 収支改善	(1) 増収	こども病院	4	2		2										
		市民病院	3	2			2									
	(2) 費用削減	こども病院	3	2			2									
		市民病院														
	(3) 収支改善	こども病院	3	2			2									
		市民病院														
第5 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとるべき措置				2	2											
1 新病院の整備及び運営に関する取組	こども病院	5	2	2			4	4					100%	A (計画どおり進んでいる)		
	市民病院														2	
2 福岡市民病院の経営改善の推進	市民病院	3	2			2										

【大項目評価基準】

評価S・・・中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある。
(評価委員会が特に認める場合)
 評価A・・・中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる。
(すべての小項目が3~5)
 評価B・・・中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる。
(3~5の小項目の割合がおおむね9割以上)
 評価C・・・中期計画の実現のためにはやや遅れている。
(3~5の小項目の割合がおおむね9割未満)
 評価D・・・中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある。
(評価委員会が特に認める場合)
 なお、小項目評価結果の割合を算定するにあたっては、ウエイトを考慮した小項目数によるものとする。